

平成20年7月5日

埼玉全国高等学校総合体育大会参加の競技者並びに監督の皆様へ

技術・審判委員会からのお願い

7月に行われました、番組編成会議に引きまして、昨年同様競技者の安全確保の立場から様々な事故の報告や違反行為について意見交換が行われました。以下の点は、競技者並びに監督の責任において安全を確保しなければならない事項です。大会に来てからでは整備・点検に時間的、物理的に不可能な事項もあることから、大会参加以前に点検・整備を行い大会に参加して欲しいと思いますので、よろしく願いいたします。

- 1 ヘルメットについて、シールの貼付の確認。劣化・破損・ひび割れの有無の確認。あごひもの適正位置の確認（ゆるすぎる場合、スタート地点での調整をすることもあります。）。
- 2 サドル・シートピラーの径とフレーム径の不一致やハンドル・ポストの径の不一致（径が違うことにより、競技中ゆるんだ場合、認められない事故になりますので、注意して下さい。）。
- 3 チェン・ピン、ナットの確認（ナットが無くなっている場合が有り、大変危険です。予備を用意しておきましょう。）。
- 4 ギアのゆるみやロック・リングの確認。ホイールによっては、汎用性の低い物もあり他メーカーの物では取り付けられないため、ロック・リングを使用していない競技者が見受けられます。
- 5 バー・エンドの固定の確認。落下しないよう固定して下さい。
- 6 クリートやペダルの確認。締め付けネジやナットの欠落が見受けられます。締め付けの確認（締め付け不良は落下につながります。）もお願い致します。
- 7 最近では、最低重量を切る自転車もあります。負荷おもり等の貼り付けでは、検車は通りません。機材にて調整して下さい。

また、身体形態上の理由から、規定外の自転車の使用について、サドルを下げる・ステムを変える等最大限の努力をした上でなおかつ規程を越えてしまったときのみ申請をお願い致します。競技者のベストポジションで練習・競技するのではなく、規程の自転車に合わせる様お願い致します。

技術・審判委員長 福田 俊彦